

学校・家庭・地域の ～ きずな・つなぐ・むすぶ ～

日野町	活動名：西大路地域学校協働本部	西大路小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 29 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務1人） ボランティア登録数：30人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・ 幼小公連携による様々な取組
- ・ 3年総合的な活動 名人さんに学ぼう の取組
- ・ 環境整備作業、運動会準備等の取組

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) 公民館での音楽コンサート（5・6年生）

6月に行った校内音楽会(150周年記念事業の一環)に、足を運んでいただけなかった地域の方々に向けて、5・6年生児童が公民館へ出向き、演目を披露した。家族に小学生がいなかったり、仕事の都合等で小学校へ来られなかったりする地域の方々に関心を持ってもらうことができ、後日行ったPTAふれあい学習会へ参加して下さる地域の方々がおられたことにつながった。



【 音楽コンサート 】

(2) PTAふれあい学習会

PTA主催で「昔の遊び」を体験する活動を行ったが、音楽コンサートに参加して下さった地域の方々に参加し、児童・保護者とともに活動してくれた。当初計画ではなかった「笹船づくり」の活動を取り入れることができた。

(3) 総合的な学習（3年 名人さんに学ぼう）

3年生の児童が、総合的な学習で地域の名人さんに弟子入りし、学ぶ学習を行った。（日野祭り囃子、日野祭の際につくる郷土料理、丁稚ようかんづくり）この活動により、地域の良さを学び、愛郷心を育むことができた。

(4) 環境整備作業（全校）

毎年、2学期開始直前に行っている環境整備作業へ、児童・保護者とともに参加して活動していただいた。

■ 実施に当たっての工夫

学校側のニーズと地域の方々の思いをすりあわせる打合せの機会を綿密に取り、計画・実施した。

■ 事業の成果・実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

昨年度末に、総合的な学習の活動年間計画を見直し、地域の方々がかかわって下さる活動についても、単発で実施されないように進めることができた。さらに、全学年に広がる活動にできればと考える。



【 名人さんに学ぼう 】

■ その他（学校運営協議会との協働等）

学校運営協議会は、今年度5回の会議を予定しており、様々な意見の交換・熟議をし、現状の相互理解と課題解決に努めている。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（各学年担任）

報告書記入者（教頭）

「南比がすき」 地域に誇りをもつ子どもの育成をめざして

日野町	活動名：南比都佐地域学校協働本部	南比都佐小学校	学校運営協議会：■有 □無
<p>地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成29年度 地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務1人） ボランティア登録数：約40人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []</p>			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・年間4回の会議を開催。後述する「南比コミュニティ・フェスティバル」の実施に当たって、ねらいや内容、講師の選定、地域への広報の方法等について討議した。
- ・学校経営管理全体計画についての検討の中で、子どもの数が減っていく中、魅力ある学校であることを広くアピールしていくことや下校時の安全確保の課題について話し合った。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

○南比コミュニティ・フェスティバル「師匠に弟子入り」

- ・地域と学校とのつながりを深めることを目的に開催した。まず、子どもたちが日頃の学習の成果を発信した。生活科や総合的な学習の時間で学んだこと、国語の学習で取り組んだ「南比未来プラン」のプレゼンテーション等、保護者の方だけでなく、地域の方にも参観いただくことができた。続いて、地域の方に教わる「師匠に弟子入り」では、墨絵やお菓子づくり、江州音頭やストリングアートなど、10の講座に30人以上の幅広い年代の「師匠」が来てくださり、親子で体験活動を楽しんだ。

○地域の「先生」から学ぶ

- ・本校の学区には、日野菜の原種を守り育ててきた「日野菜原種組合」があり、年間を通して子どもたちの指導に協力いただいている。日野菜を植え、育て、収穫し、調理するまで全校の子どもたちが関わる、本校地域学習の大きな柱である。
- ・地域の歴史を学んだり、手縫いやミシン縫いを教えていただいたり、そろばんの指導をお願いしたりと、様々な分野で地域の方が「先生」として学校に来てくださった。地域コーディネーターが文字通り、地域と学校とをつなぐ役割を果たしている。



【 親子で箏の演奏体験 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・高齢者施設との交流活動では、事前学習として町福祉課より来校いただき認知症への理解を深めた。活動内容を考える際には、子どもたちのアイデアを生かすと共に施設利用者に適したものとなるよう、職員の方と事前打合せを行った。
- ・南比コミュニティ・フェスティバルの実施に当たっては、地域の方への広報のため、区長会等に協力を依頼した。



【 ボランティアによる学習支援 】

■ 事業の成果

- ・地域の方、特に小学校にお子さんやお孫さんが通っておられない世帯の方が学校に来てくださる機会が増えた。子どもたちはもちろんのこと、地域の方も「次も来たい」と喜んでくださる方が多く、新たな活動へとつなげていきたい。
- ・子どもたちは地域の方と顔見知りになることで安心して登下校できている。また、いつも見守ってくださることに感謝し、「南比がすき」という思いを深めている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・「南比コミュニティ・フェスティバル」は地域の方に広くご参加いただきたいと考えたが、実際に来校された方は少なかった。子どもとつながりのある方は来校しやすいが、そうでない方にはまだまだ敷居が高いと感じられている方も多し。さらに多くの方に来校いただける「開かれた学校づくり」に向け、広報の方法について工夫が必要である。
- ・児童数の将来的な減少に伴い、下校時の安全確保は喫緊の課題である。学校、保護者、地域が課題意識を共有し、取組について協議していきたい。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（各学級担任）

報告書記入者（教頭）

地域ぐるみで子どもを見守り、学校を支援する協働活動のために

日野町	活動名： 必佐地域学校協働本部	必佐小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和5年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：60人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） <input type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校・園 学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

・学校運営協議会委員の皆さんと教職員との熟議の中で、本校児童の強みと弱みについて共有することができた。児童の課題の中で、家庭学習が定着していないことが課題として挙げられた。家庭学習の定着については、「学校・家庭・地域が一体となって今後取り組むテーマとしてふさわしい」「有効な手立てを皆で考えていきたい」という共通理解が得られた。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) 見守りあいさつ運動

朝の登校時間帯に、必佐小見守り応援隊やPTA有志の皆さんが交代で校門付近に立ち、あいさつ運動に取り組んだ。

(2) 体験的な学習への支援

焼き芋や田植え・稲刈りなどの指導を地域の方をお願いした。家庭科の裁縫やマシン縫いなど、個別の支援を必要とする学習での支援をお願いした。

(3) ふるさと学習支援

日野町の特産品である日野菜の栽培や日野菜漬けで経験豊かな地域の方に指導をしていただいた。



【 焼き芋づくり 】

■ 実施に当たっての工夫

・本事業の広報とボランティア募集のために関係機関や地域の方にチラシを配布し、事業への理解と協力を依頼した。
 ・見守り活動の全体会議で各団体の代表の方に説明をして依頼をした。

■ 事業の成果

・見守りあいさつ運動を数年間続けてきたため、児童にあいさつの習慣が身につけてきた。大きな声で気持ちよくあいさつをして、学校生活を気持ちよくスタートすることができている。
 ・ボランティアの皆さんのおかげで、児童は楽しく学習に取り組むことができた。そして、達成感や成就感、地域への関心が高まった。



【 田植え体験 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

・人材の開拓に努めることで、地域の良さや室に気づき地域への関心を児童が高めていけるようにしていきたい。
 ・指導者の考えや指導方針を明確に示し、活動推進員の意見も聞きながら打合せを丁寧に行う必要がある。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

・学校運営の様子や子どもたちの学習の様子をURLで紹介している。

<https://www.fureai-cloud.jp/hissa-es/>

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 教頭 ）

「好きです桜谷」と自信を持って言える子を育てる

日野町	活動名： 桜谷地域学校協働本部	桜谷小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成29年度 地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務1人） ボランティア登録数：100人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

○連携・協働体制づくりに向け、学校と地域そして家庭がどのような力を子どもに育んでいくか、具体的な方策を進めていけるような体制づくり。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) 3年生は2学期の総合的な学習の時間に「日野菜」について学習を行っている。今年も9月末から日野菜の種をまき、間引きや収穫までの作業をJA職員、地域の方々との支援を受けながら栽培活動を進めてきた。GI認定を受けた日野菜を今年は漬物にするだけでなく、日野菜を使ったいろいろな調理にも挑戦してみたいという子どもたちの思いを受け、「日野の伝統料理を継承する会」の協力のもとで「日野菜を使った料理教室」を行った。3年生はこの調理実習の際に栽培活動で協力していただいたJA職員や地域の皆さんを招待し、ともに味わうことができた。



【 日野菜を使った料理に挑戦 】

(2) 5年生、6年生は、今年も家庭科の学習で、「東桜谷ソーイングクラブ」や「東西桜谷健康推進委員」の方に裁縫や調理実習で協力をしていただいた。5年生も6年生も玉結び、玉止め、まち針の打ち方などの基本の縫い方をはじめ、ミシンの使い方を、丁寧にソーイングクラブの方から説明しながら教えていただいた。子どもたちも丁寧にアドバイスを受けながら安心して実習に取り組むことができた。調理実習では6年生のお弁当作りで何種類ものおかずを作る際、児童の質問に対し的確にアドバイスをしながら、最後の後始末まで丁寧に指導支援をしてくださった。また、今年度は2年生の生活科の大根調理の際も指導支援を受けられた。

(3) 昨年度よりマラソン大会のコースを中之郷周辺に変更し、実施している。このマラソン大会には試走から公民館運営委員の皆さんや地域の皆さん、そして保護者の方に立哨等で支援していただいている。今年度も公民館のスタート地点には大きなバルーンのアーチが設置されただけでなく、1年生一人ひとりに完走証を、各学年には月桂樹で編んだ冠をいただいた。

(4) 学校運営協議会が昨年度より導入され、6月16日の19時半から1回目の協議をした。11月8日には学運協の方以外にも保護者や地域の支援者の方に参加していただき、給食試食と授業参観、そして教員も含めての「地域とともにある学校づくり研修会」を行った。今年度は余呉小中学校のCSコーディネーター松田幸夫氏を講師に迎え、教員と地域の方が「育てたい子どもの力や課題」について熱心に熟議を行った。3回目は1月30日に開催する予定である。

■ 実施に当たっての工夫

- ・参加される方の多くが地域の高齢者であるため、活動の種類や日程調整を含め、事前に丁寧な打合せ等を行った。
- ・子どもが主体的に地域の方々との協働して学び、体験できる活動を進めてきた。

■ 事業の成果

- ・今年度も地域の方々との協働活動による行事・学習活動を実施することができた。また今年度は地域の文化祭で高学年児童と地域の方との「桜谷地域の未来について」語り合う熟議の機会を持つことができた。
- ・今年度は地域の講師を招き教職員のふるさと教材について学ぶ現地研修会を実施することができた。



【 未来の桜谷について考えよう 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・ふるさと学習カリキュラムの縦と横のつながりを意識した実施計画については今後も検討し作成をしていきたい。
- ・地域学習の講師の高齢化が進んでいる。新たな地域学習の講師を発掘していきたい

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・学校運営協議会も2年目を迎え、さらに創立150周年を来年度に控えるなかで地域と学校がお互いに考えを出し合う機会が増えている。150周年記念式典が終わったあとも連携しながら子どもを育てる仕組みづくりを今後も協議していきたい。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）
報告書記入者（教頭）

